令和３年４月

複数教員指導制の導入について

京都大学工学研究科
材料化学専攻
物質エネルギー化学専攻
分子工学専攻
高分子化学専攻
合成・生物化学専攻
化学工学専攻

京都大学工学研究科化学系６専攻は従前より高度な研究教育環境を整備し，産学界をリードする優秀な化学者・化学技術者の育成に努めるとともに，研究教育の一層の高度化を目的とした改革も行ってきました。そのような姿勢はこれまで高い評価を受け，多くの優秀な学生，若手研究者を引きつけ，最先端の研究教育機関としての活性を保つ原動力となってきました。

京都大学工学研究科化学系６専攻が優秀な教員を多く有するメリットを活かすために，平成 18 年度より「複数教員指導制」を導入しました。この制度では，博士後期課程学生が他研究室の教員を副指導教員として持つことにより，他分野に自然と目を向け，より広い視野を持った化学者・化学技術者に育つことを期待しています。同時に，報告会等における副指導教員との研究討議を通じ，研究遂行上の新しい考え方に触れることができるだけでなく，将来リーダーシップを発揮する化学者・化学技術者として必要な多面的な能力が養われることを期待します。

各学生においては，指導教員と相談のうえ副指導教員を定め，所定の様式に従い，指導教員を通じて副指導教員を報告してください。

１．副指導教員の選任

副指導教員１名を，当該学生の所属する専攻の，指導教員と異なる分野の教授または准教授から選任する。

２．副指導教員の役割

・ 指導教員を補助して当該学生の学位取得を支援し，必要に応じて研究，教育に関するアドバイスを与える。
・ 指導教員とともに中間報告会を開催し，博士課程研究の進捗状況を把握する。開催時期，中間報告会の形式等は問わない。

提出期限等：令和３年４月 23 日（金）Ａクラスター事務区教務掛まで

様式１

副指導教員選任報告書

年　　月　　日

専攻長殿

下記のとおり副指導教員を選任いたしましたので報告いたします。

指導教員　　印

記

専攻名 （融合工学コースは融合分野名も記載）	専攻 （　　分野）
学生氏名	

副指導教員名 （職）	
副指導教員名２（融合工学コースのみ） （職）	

以上

様式２

副指導教員変更報告書

年　　月　　日

専攻長殿

下記のとおり副指導教員を変更いたしましたので報告いたします。

指導教員　　印

記

専攻名 （融合工学コースは融合分野名も記載）	専攻 （　　分野）
学生氏名	

旧副指導教員名 （職）	
新副指導教員名 （職）	

以上